# 別表第9 教職課程

#### 取得できる免許状の種類及び免許教科

学 科	免許状の種類	免許教科
建設社会工学科		
機械知能工学科		
電気電子工学科	高等学校教諭 一種免許状	工業
応 用 化 学 科		
マテリアル工学科		

#### 免許状を取得するために必要な最低修得単位数

			最低修	5得単位数						
	教科及び教 法に関っ	枚科の指導 ける科目	教育の基礎的理解に関 する科目等	大学が独自に設定する 科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める					
免許状の種類	教科に関 する専門 的事項	各教科の 指導法		(左記の最低修得単位を 超えて履修した教科及 び教科の指導法に関す る科目又は教育の基礎 的理解に関する科目等)	科目					
	24 3	単位	23 単位	12 単位						
高等学校教諭 一種免許状(工業)		59 単位 8 単位								

注)ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。

記されてきる。 ことができる。 また、表中の「教育の基礎的理解に関する科目等」の23単位には「教育の基礎的理解に関する科目」10単位、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」8単位及び「教育実践に関する科目」5単位を全まる。

るお、3年次編入学生で認定した科目において、教科に関する科目として指定する場合、最大 10 単位(高等専門学校 からの編入生の場合は、高等専門学校の第4学年及び第5学年に係る課程において修得した単位に限る)までしか指定できない。

### 大学が独自に設定する科目(全学科共通)

				授	業	時	数			
   大学が独自に設定する科目	単位	1 年	三次	2 年	三次	3 年	三次	4 年	三次	備考
八子》孤古に成足りる竹百	位数	前	後	前	後	前	後	前	後	NHI 75
		期	期	期	期	期	期	期	期	
大学が独自に設定する科目 最低修得単位数	12									「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて履修した単位又は「教育の基礎的理解に関する科目等」の最低修得単位数を超えて履修した単位について12単位以上修得

#### 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(全学科共通)

開設授業科目										
授 業 科 目	単 位 数									
○日本国憲法 I	1									
○日本国憲法Ⅱ	1									
○スポーツ実技	1									
○健康スポーツ科学論	1									
○英語 I C	1									
○英語 II C	1									
○情報リテラシー	2									

注)上記の表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。

#### 教育の基礎的理解に関する科目等(全学科共通)

		単			授	業	時	数			
教育の基礎的 理解に関する	   授業科目	位	1 年	F次	2 年	F次	3 年	三次	4 年	三次	備考
科目等	汉朱竹口	-	前	後	前	後	前	後	前	後	DHI JA
		数	期	期	期	期	期	期	期	期	
	○教育原理	2		2		i				!	
	○教職論	2	2	! !		i				!	
#/ -t -c +t rtt 4/ rm	○教育社会学	2		!	2	i !				1	
教育の基礎的理 解に関する科目	○学校安全管理論	1		1		1				1	
) / (	○教育心理学	2	2	1		1				1	
	○特別支援教育論	1		1		1		1		l I	
	○教育課程論	1		1	1	1		1		1	
	○総合的な学習の時間の指導法	1		1		1		1		l I	
· ** *** *** *** *** *** *** *** *** **	○特別活動の指導法	1		1	1	i i		1		1	
道徳、総合的な 学習の時間等の	○教育方法	1		1		i i	1	1		1	
指導法及び生徒	○生徒指導	1		1		1		1		l I	
指導、教育相談 等に関する科目	○教育相談	2		1		1	2	l I		1	
一一一一一一一一	○進路指導	1		1		1		1		1	
	○教育と ICT 活用	1		!			1				
教育実践に	○教育実習	3		!							適時
関する科目	○教職実践演習(高)	2		1		1		1		2	

- 注)①上記の表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。
  ②教育の基礎的理解に関する科目等より10単位以上、教科及び教科の指導法に関する科目及び大学が独自に設定する科目と合わせて24単位以上、修得した者でなければ教育実習は履修できない。
  ③教育の基礎的理解に関する科目等の単位は人文社会系の単位として認められない。
  ④教育実習の3単位は、実習校での「教育実習」と、学部で開く「事前・事後指導」との二つの履修から成る。教育実習に行くためには、実習に行く前年度の3月に集中で開講される「事前指導」を受講しておかなければならない。
  ⑤教育実習に行くためには、別途に開講する「同和教育」を受講しておかなければならない。

### (1) 建設社会工学科

		単				業	時	数			目加加尔以及型
教科及び教科     の指導法に関	授業科目		1 年	三次	2 年	F次	3 年	F次	4 年	F次	最低修得単位数
する科目	仅 未 竹 日		1 10 1	後	前	後	前	後	前	後	高校1種
		位	期	期	期	期	期	期	期	期	同仅1個
	○公共計画基礎	2			2			! !		1	
	国土計画論	2						2			
	地域計画と景域デザイン	2					2				
	都市計画	2				2					
	道路交通工学	2					2	i I			
	水理学 I	2			2	i		i I			
	水理学Ⅱ	2				2		i		i	
	海岸・港湾工学	2				į		2		i	
	水環境工学	2						2		İ	
	防災情報工学	2						2			
	○地盤工学基礎及び演習	2			4			i			
	○地盤工学	2				2		i			
- Alle	地盤耐震工学	2					2	i i			
工業の関係科目	構造物基礎と地下空間	2						2			
	○構造力学 I	2			2			1		1	
	構造力学Ⅱ	2						2			
	○建設振動学	2				2					
	建設材料施工学	2			2						
	○コンクリート構造工学 I	2				2					
	コンクリート構造工学Ⅱ	2					2				
	○測量学実習	1			3			1			
	○建設工学実験 I	1					3	1			
	○建設工学実験Ⅱ	1						3			
	○建築設計製図 I	2				4		1			
	建築設計製図Ⅱ	2				 	4	 		 	1
	○工学概論A	1				 	(1)	(1)	(1)	(1)	<b>*</b> 1
	○工学概論B	1				 	(1)	-	(1)	(1)	<b>*</b> 1
職業指導	○職業指導	4				1		1	2	2	<b>*</b> 1
各教科の指導 法(情報機器 及び機材の活 用を含む。)	○工業教科教育法	4				 	4	 		 	
合 計											24 単位

注)上記の表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。 ※1 教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

# (2) 機械知能工学科 (知能制御工学コース・機械工学コース) 工業の教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科		単	1 &	 F次	授	業 F次	時	数_ 军次	1 /	<b>下次</b>	最低修得単位数
の指導法に関する科目	授 業 科 目	71.	前		前	後	前	- 後			京林 1 紙
7 W TI LI		位	期	後期	期	期	期	期	前期	後期	高校1種
	○流体力学基礎	2			2	! !		!		! !	
	○材料力学 I	2			2					-	
	材料力学Ⅱ	2				2					
	機械材料学	2				2					
	弾塑性力学	2					2				
	材料強度	2					2				
	○生産工学基礎	2			2			-			
	機械加工	2				2					
	生産ソフトウェア工学	2					0	2			
	流体力学	2					2				
	圧縮性流体力学	2			0			2			
	○熱力学 I	2			2			<u> </u>		i	_
	熱力学Ⅱ	2				2	0			i	
	伝熱学	2			0		2			i	
	熱流体工学基礎	2			2	0				i	
	○制御工学基礎	2				2	0			i	
	データ処理工学	2			0		2				_
	電機基礎理論I	2			2	0		<u> </u>		<u> </u>	
	電機基礎理論Ⅱ	2				2	0				
	振動工学	2				0	2				_
	制御系解析	2				2	0				_
	制御系構成論Ⅰ	2					2				_
工業の関係	制御系構成論Ⅱ	2				0		2			_
科 目	センサ工学Ⅰ	2				2				i	
	ディジタル制御	2					0	2		i	加州州州
	知能制御応用	2					2	<u> </u>		i	知能制御工学コースのみ
	情報処理システムⅠ	2					2			i	_
	情報処理システムⅡ	2					0	2		i	_
	燃燒工学	2			0		2	<u> </u>		i	_
	メカと力学	2			2						
	機械力学Ⅰ	2				2	0				
	機械力学Ⅱ	2					2			-	
	設計工学 I	2					2			i	_
	設計工学Ⅱ	2						2	0	i	_
	トライボロジー	2					0	-	2	i	
	○数値解析法	2			0		2				_
	機械工作法実習	1			3						
	設計製図 I	1			3		2	<u> </u>		<u> </u>	機械工学コース 
	設計製図Ⅱ	1					3	2		<u> </u>	
	機械工学PBL	1				0		3			
	機械工学実験Ⅰ	1				3	0				」 機械工学コース 機械工学コース のみ必修
	機械工学実験Ⅱ	1			0	! !	3	-		-	
	制御工学PBLI	1			3		0	-		<u> </u>	□ 知能制御工学 □ コースのみ必仰
	制御工学PBLⅡ	1					3	0			コーへのみ必1
	制御工学PBLⅢ	1					(1)	3	(1)	(1)	
	○工学概論 A	1					(1)	(1)	(1)	+	<u>* 1</u>
卧 本 下 ※	○工学概論 B	1					(1)	(1)	(1)	(1)	<u>* 1</u>
職業指導	○職業指導	4						-	2	2	<b>※</b> 1
各教科の指導法 (情報機器及び機 材の活用を含む。)	○工業教科教育法	4				 	4			! 	
合 計					•		•				24 単位

注)上記の表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。 ※1 教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

### (3) 電気電子工学科

新学校の報告   日本の			単				業	時	数	1		
では		运 <b>业</b> 权 口	·	1 年	三次	т		3 年		4 年	E次	最低修得単位数
(位 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期	の指導法に関	按 兼 科 目										古长1孫
○電磁気学Ⅱ 2 2 2   2   2   2   2   2   2   2   2	, , , , ,		位	期	期	期	期	期	期	期	期	尚仪 I 俚
○電磁気学用 2 2 2   2   2   2   2   2   2   2   2		○電磁気学 I	2			2	i		i i		 	
電磁気学下 2 2 2   2   2   2   2   2   2   2   2		○電磁気学Ⅱ	2			2			1		1	
○電気回路Ⅱ 2 2 2 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 1 3 1 1 1 1		○電磁気学Ⅲ	2				2		i i		 	
○電気回路Ⅱ 2 2 2 2   2			2				i	2	i i		 	
●電気回路田 2 2 2 2 3 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		○電気回路 I	2			2	İ		i i		 	
電気回路   2   2   2   3   4   4   4   4   4   4   4   4   4		○電気回路Ⅱ	2			2	İ		i i		 	
●電子回路 I		○電気回路Ⅲ	2				2		i		!	
電子回路印 2 2 2 5 5 6 6 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6		電気回路IV	2				İ	2	i		  -	
電子回路応用演習 1 2 2 3 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		○電子回路 I	2			2	į		į		i	
数値計算法 1 2 2		電子回路Ⅱ	2				2		i		i	
エネルギー基礎工学 2		電子回路応用演習	1					2	1		1	
通信基礎   2		数值計算法	1					2	i i		1	
情報理論   2		エネルギー基礎工学	2				2		1		1	
<ul> <li>工業の関係科</li> <li>日本の関係科</li> <li>日本の関係科</li> <li>日本のでは、中央では、100円ので</li></ul>		通信基礎	2					2			1	
工業の関係科       2		情報理論	2						2			
工業の関係 科		組み込みオペレーティングシステム	2						2		1	]
予		システム工学	2					2	1		1	]
科 目 ○電気電子工学実験 I 1 3 3 3	工業の関係	センサ・インターフェース工学	2				1		2		 	
電気電子工学実験Ⅲ A 1		○電気電子工学実験 I	1			3	1		1		 	
電気電子工学実験Ⅲ B 1		○電気電子工学実験Ⅱ	1				3		1		 	
電気電子工学実験Ⅲ B 1		電気電子工学実験Ⅲ A	1					3			1	] いずれか1科目
論理回路   2   2   2   2   2   2   2   2   2		電気電子工学実験Ⅲ B	1					3			1	選択必修
電気電子計測 I 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		○電気電子工学 PBL 実験	2						6		1	1
電気電子計測Ⅱ 2 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		論理回路	2			2					1	1
コンピュータアーキテクチャ 2   2   2   3   3   3   3   3   3   3		電気電子計測 I	2					2			1	1
組み込みシステム 2 2 2 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		電気電子計測 Ⅱ	2						2		1	1
電気エネルギー伝送工学 2 2 2 3 3 4 3 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		コンピュータアーキテクチャ	2					2				1
電気機器 2 2 2 2 2 3 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		組み込みシステム	2				1	2	! !		 	1
パワーエレクトロニクス 2   2   2   3   3   3   3   3   3   3		電気エネルギー伝送工学	2				1	2	 		 	1
パワーエレクトロニクス 2   2   2   2   3   4   4   4   4   4   4   4   4   4		電気機器	2				!	2	 		† !	1
半導体デバイス     2     2     2       電気電子物性     2     2     2       ○工学概論A     1     (1) (1) (1) (1) (1) (1) ※1       ○工学概論B     1     (1) (1) (1) (1) (1) (1) ※1       職業指導     4     2     2       各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)     4     4     4		パワーエレクトロニクス	2				1		2		 	1
電気電子物性 2 (1) (1) (1) (1) ※1		制御システム工学	2				1	2	! !		 	1
電気電子物性 2		半導体デバイス	2			2	 		 		<del> </del> 	1
○工学概論A     1     (1) (1) (1) (1) ※1       ○工学概論B     1     (1) (1) (1) (1) ※1       職業指導     ○職業指導     4     2     2     ※1       各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)     4     4     4     4							1	2			1	1
○工学概論B     1     (1) (1) (1) (1) ※1       職業指導     4     2 2 ※1       各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)     4     4							!		(1)	(1)	(1)	<b>*</b> 1
職業指導     4       各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)     4			1				!		-	_		-
各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。) 4 4 4	職業指導		4				 		 	2	2	<b>*</b> 1
	各教科の指 導法(情報 機器及び機 材の活用を		4				 	4	 		 	
口 印	合 計											24 単位

注)上記の表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。 ※1 教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

### (4) 応用化学科

		単			授	業	時	数			最低修得単位数
教科及び教科 の指導法に関	授業科目		1 年	三次	2 年	三次	3 年	F次	4 年	三次	取囚修行事业级
する科目	汉 未 行 日		前	後	前	後	前	後	前		高校1種
		位	期	期	期	期	期	期	期	期	同仅 1 俚
	○応用化学基礎実験	2			6			1			
	○有機化学 I	2			2			1			
	○有機化学Ⅱ	2				2		1			
	有機化学Ⅲ	2					2	1			
	反応有機化学	2						2			
	有機工業化学	2						2			
	有機機器分析	2					2	i			
	高分子合成化学	2					2	i			
	高分子機能化学	2						2			
	○化学工学 I	2			2			1			
	化学工学 Ⅱ	2				2		1			
	化学工学Ⅲ	2					2	i i			
工業の関係 科 目	反応工学	2						2			
T1 1	コンピュータ解析 I	2					2	1			
	○無機化学 I	2			2						
	○無機化学Ⅱ	2				2					
	機能性材料化学	2						2			
	物理化学Ⅳ	2						2			
	物理化学V	2						2			
	分析化学	2					2	1			
	○応用化学実験 A	2				6		1			
	○応用化学実験 B・PBL	2					6	1			
	○応用化学実験 C	2						6			
	○工学概論A	1					(1)	(1)	(1)	(1)	<b>*</b> 1
	○工学概論B	1					(1)	(1)	(1)	(1)	<b>*</b> 1
職業指導	○職業指導	4						1	2	2	<b>*</b> 1
各教付情報 様器の活 機器の活 を を を な。)	○工業教科教育法	4					4				
合 計											24 単位

注)上記の表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。 ※1 教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

### (5) マテリアル工学科

					授	業	時	数			具瓜板组出凸粉
教科及び教科 の指導法に関	   授業科目	単	1 4	F次	2 年	<b>下次</b>	3 年	三次	4 年	<b>下次</b>	最低修得単位数
する科目	女 未 行 日	単位数	前期	後期	前期	後期	前期	後 期	前期		高校1種
	○格子欠陥学	2			2	1				1	
	○材料組織学 I	2			2	1				1	
	材料組織学Ⅱ	2				2				1	
	回折結晶学	2				1	2			1	
	計算材料学 I	2				1	2	1		1	
	○材料熱力学基礎	2			2	1		1		1	
	○材料熱力学	2		i !		2				!	
	○反応速度論	2		i !		2				!	
	材料プロセス	2		i !		!	2			!	
	塑性加工学	2				1		2		1	
工業の関係	○材料力学	2			2	1		1		1	
科   目	材料物理数学	2		į		2				i	
	破壊力学	2				1	2			1	
	計算材料学Ⅱ	2				1		2		1	
	製錬工学	2				1	2	! !		1	
	○設計製図	1		i	3	1		 		!	
	○フロンティア工学実習	1		! !	3	 				 	
	○マテリアル基礎実験	1		į		!	3	i I			
	○マテリアル工学 PBL	1		į				3			
	○外国語文献講読	2		į					2		
	○工学概論A	1		į			(1)	(1)	(1)	(1)	<b>*</b> 1
	○工学概論B	1		į			(1)	(1)	(1)	(1)	<b> </b> * 1
職業指導	○職業指導	4		1		1			2	2	<b>※</b> 1
各教科の指 導法器 機器 がの 活 を を を を を を を を を を を の に の に の に の に の	○工業教科教育法	4		 			4				
合 計											24 単位

注)上記の表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。ただし、当分の間、「各教科の指導法」に関する科目及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数は、その全部又は一部を「教科に関する専門的事項」に関する科目(「工業の関係科目」、及び「職業指導」)の単位をもって替えることができる。 ※1 教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

# 別表7 (第18条関係)

# 教職課程

#### 取得できる免許状の種類及び免許教科

学科	免許状の種類	免許教科
知 能 情 報 工 学 科		
情 報・ 通 信 工 学 科		
知的システム工学科	高等学校教諭 一種免許状	情報
物 理 情 報 工 学 科		
生命化学情報工学科		

# 免許状を取得するために必要な最低修得単位数

				最低修得単位数	
免許状	の種類	教科及び教科の指 導法に関する科目		大学が独自に設定する科目 (左記の最低修得単位数を超え て履修した教科及び教科の指導 法に関する科目又は教育の基礎 的理解に関する科目等)	
高等学 校教諭	一種免許 状(情報)	24 単位	23 単位	12 単位	8 単位

# 教育の基礎的理解に関する科目等(全学科共通)

							畄			授	業	時	数				
区分		‡	受 業	科	目		単位数	1	年	2	年	3	年	4	年	備	考
							釵	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	0	教	育		原	理	2		2		i i		i i		i		
	0	教		職		論	2	2	į		i		i		i		
教育の基礎的	$\circ$	教	育	社	会	学	2		į	2	!		!		i !		
理解に関する	$\circ$	学	校 安	全	管理	1 論	1		į		1		i				
科 目	$\circ$	教	育	心	理	学	2	2	i i		i I		i I		: 		
	0	特	別 支	援	教育	<b>i</b> 論	1		į		i !		1		i		
	0	教	育	課	程	論	1		i	1	i i		i i		i		
	0	総合	合的な学習	習の間	寺間の排	道導法	1		į		i I		1		i		
道徳、総合的	0	特	別活真	助の	)指導	算 法	1		i	1	i I		 		i I		
な学習の時間	0	教	育		方	法	1		i			1	 		i I		
等の指導法及 び生徒指導、	0	生	徒		指	導	1		i i		1		i I		i I		
教育相談等に	0	教	育		相	談	2		i		i	2	i		i		
関する科目	0	進	路		指	導	1		į		i I		1		i		
教育実践に関 する 科 目	0	教	育と	IC	Ті	舌用	1		i		i I	1	i I		1		
	0	教	育		実	習	3		i i		I I		I I	6	1		
	$\bigcirc$	教	職実員	戋 演	習(	高)	2		į		i I		I I		2		

- 注) ① 上記の表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
  - ② 各科目について、教育の基礎的理解に関する科目等を 16 単位以上、教科及び教科の指導法に関する科目より教科教育法 I 及び教科教育法 II を含み大学が独自に設定する科目と併せて 24 単位以上、修得した者でなければ教育実習は履修できない。
  - ③ 教育実習の3単位は、実習校での「教育実習」と、学部で開く「事前・事後指導」との二つの履修から成る。教育実習に行くためには、実習に行く前年度の3月に集中で開講される「事前指導」を受講しておかなければならない。
  - ④ 教育実習に行くためには、別途に開講する「人権教育」を受講しておかなければならない。

# 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (全学科共通)

笙 6	56 条の	612	完める和	11日		開	設	授	業	科	E .	備	考
No.	30 A V	0 15,	AE W) W) 1	1 11		授	業	科	目		単位数	νm	79
	本	玉	憲	法	日	本	玉	憲	法	Ι	1		
	4	国	思	伝	日	本	玉	憲	法	$\Pi$	1		
体				育	ス	ポ	_	ツ	実	技	1		
14				Ħ	健	康ス	ポー	- ツ	科与	之 論	1		
外	国 語	コ	ミュ	=	英	i	語	I		С	1		
ケ	_	シ	3	ン	英	i	語	Ι	[	С	1		
情	報 機	器	の操	作	プ	口	グラ	ラミ	ン	グ	3		

注)上記表中の授業科目は、必ず修得しなければならない。

# 大学が独自に設定する科目(全学科共通)

	単			授	業	時	数			最低修得
大学が独自に設定する科目	単位数	1	1年		年	3年		4年		単位数
	釵	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
大学が独自に設定する科目の最低修得単位数	12									「教す最数修は礎すの位履に位料消る低をし「的る最数修つ以上及導科修超た教理科低をいい上及注目得え単育解目修超たて修教に」単て位のに等得え単1得教関の位履又基関」単て位単

### 1 知能情報工学科

教科及び教		単			受 業	時数	女			具瓜板组出合物
科の指導法	拉 孝 幻 口	·	1年	2	年	3	年	4	年	- 最低修得単位数
に関する	授業科目	位	前後	前	後	前	後	前	後	立位 1 種
科目		数	期期期	期	期	期	期	期	期	高校1種
	ICTと現代社会論	1	(1) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)		1	
情報社会(職	*情報社会と教育	1		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1 単位 **いずれか1科目選択必修
業に関する内容を含む。)・	*情報倫理	1		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
情報倫理	○情報職業論	2			! ! !	2			 	
	産業組織論	2			i ! !	2			 	
	○計算機システムⅠ	2	2		 				 	
	○ データ構造とアルゴリズム	2	4		i ! !				 	
	○計算機システムⅡ	2	2		i ! !				 	
	オートマトンと言語理論	2	2		! !				 	
	○知能情報工学基礎実験	2		4	i i i		! !		 	
	○論 理 回 路	2		2	! !				 	
コンピュータ・情報処理	○アルゴリズム設計	2		2						1 単位
	計算機アーキテクチャ	2		2	i !				1	
	人工知能基礎	2			2		 		 	
	オブジェクト指向プログラミング	3			4		! ! !		 	
	プログラミング言語処理系	2			2		1		 	
	自然言語処理	2			 	2	1		 	
	人工知能論理	2			 	2	1		 	
	○プログラム設計	2		4	 				 	
情報システム	データベース	2			2					1 光存
目目報ングアム	オペレーティングシステム	2				2	1		 	1 単位
	ソフトウェア工学	2			1		2		 	
情報通信ネッ	○ ネットワーク通信基礎	2		2					 	1 単位
トワーク	情 報 理 論	2			 	2			 	1 単位
	○ 情報メディアとコミュニケーション	1		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
マルチィディア	メディア処理	2			1	2	! !		 	
マルチメディア - 表現・マルチ メディア技術 -	コンピュータグラフィックスA	2			1		2			1 単位
	人工知能応用	2			1		2		1	
	データ圧縮	2			1		2		 	
各教科の指導法	○ 教科教育法(情報) I	2			1	2	1		 	4 嵌层
(情報通信技術の 活用を含む。)	○ 教科教育法(情報) Ⅱ	2			1		2		 	4 単位
合 計										24 単位

注)① 上記表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。 ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、いずれか1科目選択必修。 ③ 上記表中の下線の付された授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

# 2 情報・通信工学科

情報社会 (職業に関するか)・情報 倫理 1  「情報 協力でを含む。)・情報 倫理 1  「情報 職業 論 2  一度業組織論 2  「計算機システム I 2 2  「データ構造とアルゴリズム 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「対ートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「アルゴリズム 設計 2  「アルゴリズム 設計 2  「ディジタルシステム設計 2  「ディジタルシステム設計 2  「データ ベース 2  オペレーティングシステム 2  ソフトウェアエ学 2  「ネットワーク通信基礎 2  「情報通信工学実験 II 2	) (1)	2 前 期 (1) (1) (1) 2 2 2	年 後 期 (1) (1) (1) 4 2	3 前 期 (1) (1) (1) 2 2	年後期(1)(1)(1)	4 前 期 (1) (1)	年後期(1)(1)	最低修得単位数 高校 1 種  1 単位  ※いずれか 1 科目選択必修  1 単位
Table   大田   Table   大田   Table	月 期	期 (1) (1) (1) (2) 2	期 (1) (1) (1)	期 (1) (1) (1) (2)	期 (1) (1)	期 (1) (1)	期 (1)	1 単位
T C T と現代社会論 1 (1 *情報社会 (職業に関する内容を含む。)・情報 編 業 論 2   所報 編 業 論 2   所報 編 業 論 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕構造とアルゴリズム 2   一方一夕 表 計 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	4 2	(1) (1) (1) (2) 2	(1) (1) (1)	(1) (1) (1) (2)	(1) (1)	(1)	(1)	1 単位
情報社会 (職業に関するか)・情報 倫理 1  「情報 協力でを含む。)・情報 倫理 1  「情報 職業 論 2  一度業組織論 2  「計算機システム I 2 2  「データ構造とアルゴリズム 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「計算機システム II 2  「対ートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「オートマトンと言語理論 2  「アルゴリズム 設計 2  「アルゴリズム 設計 2  「ディジタルシステム設計 2  「ディジタルシステム設計 2  「データ ベース 2  オペレーティングシステム 2  ソフトウェアエ学 2  「ネットワーク通信基礎 2  「情報通信工学実験 II 2	4 2	(1) (1) 2 2	(1) (1)	(1) (1) 2	(1)	(1)		-
*情報倫理 1 (情報職業論 2 () 情報職業論 2 () 計算機システム I 2 () データ構造とアルゴリズム 2 () 計算機システム I 2 () 計算機システム I 2 () 計算機システム I 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () アルゴリズム 設計 2 () オートマトンと言語理論 2 () アルゴリズム 設計 2 () オートマトンと言語処理系 2 () アルゴリズム 設計 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () オートマトンと言語処理系 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () オートマトンと言語理論 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () オートマトンと言語理論 2 () 計算機アーキテクチャ 2 () オートマトンと言語理論 2 () 計算機・システム 3 () 対策のよりによる。 () 対策のようによる。 () 対策のよりによる。 () 対策のようによる。 () 対策のよる。 () 対策のようによる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策のようによる。 () 対策のよる。 () 対策のようによる。 () 対策のようによる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策のようによる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策のよる。 () 対策の	4 2	2 2	4	(1)		(1)		-
できるむ。)・ 「情報 編業 論 2 「情報 職業 論 2 「産業 組織 論 2 「データ構造とアルゴリズム 2 「計算機システム I 2 「データ構造とアルゴリズム 2 「計算機システム I 2 「計算機システム I 2 「オートマトンと言語理論 2 「オートマトンと言語理論 2 「カートマトンと言語理論 2 「カートマトンと言語理論 2 「カートマトンと言語理論 2 「カートマトンと言語理論 2 「カートマトンと言語理論 2 「アルゴリズム 設計 2 「アルゴリズム 設計 2 「ディジタルシステム設計 2 「ディジタルシステム設計 2 「データ ベース 2 オペレーティングシステム 2 ソフトウェア工学 2 「ネットワーク通信基礎 2 「情報通信工学実験 II 2	4 2	2 2	4	2	(1)		(1)	
情報 倫理  「情報職業論2  「産業組織論2  「計算機システム I 2 2  「データ構造とアルゴリズム 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「計算機システム I 2  「オートマトンと言語理論 2  「ルゴリズム 設計 2  オブジェクト指向プログラミング 3  プログラミング言語処理系 2  ディジタルシステム設計 2  データベース 2  オペレーティングシステム 2  ソフトウェア工学 2  「ネットワーク通信基礎 2  「情報通信工学実験 II 2	4 2	2	-			2		1 単位
○計算機システム I       2         ○データ構造とアルゴリズム       2         ○計算機システム II       2         ○計算機システム II       2         ○オートマトンと言語理論       2         ○計算機アーキテクチャ       2         アルゴリズム設計       2         オブジェクト指向プログラミング言語処理系       2         ディジタルシステム設計       2         ディジタルシステム設計       2         データベース       2         オペレーティングシステム       2         ソフトウェア工学       2         ○ネットワーク通信基礎       2         ○情報通信工学実験 II       2	4 2	2	-	2		2		1 単位
○ データ構造とアルゴリズム       2         ○ 計算機システムⅡ       2         ○ オートマトンと言語理論       2         ○ 計算機アーキテクチャ       2         アルゴリズム設計       2         オブジェクト指向プログラミング       3         プログラミング言語処理系       2         ディジタルシステム設計       2         ディジタルシステム設計       2         ディジタルシステム設計       2         ディシタルシステム設計       2         ブログラム設計       2         オペレーティングシステム       2         ソフトウェア工学       2         ○ 木ットワーク通信基礎       2         ○情報通信工学実験Ⅱ       2	4 2	2	-			2		1 単位
□計算機システムⅡ 2 □ オートマトンと言語理論 2 □ オートマトンと言語理論 2 □ 計算機アーキテクチャ 2 □ アルゴリズム設計 2 □ オブジェクト指向プログラミング 3 □ プログラミング言語処理系 2 □ ディジタルシステム設計 2 □ プログラム設計 2 □ データベース 2 □ オペレーティングシステム 2 □ ソフトウェア工学 2 □ ネットワーク通信基礎 2 □ 情報通信工学実験Ⅱ 2	2	2	-			2		1 単位
コンピュータ・情報処理       ○計算機アーキテクチャ 2         アルゴリズム設計 2       オブジェクト指向プログラミング 3         プログラミング言語処理系 2       ディジタルシステム設計 2         ディジタルシステム設計 2       ブログラム設計 2         データベース 2       オペレーティングシステム 2         ソフトウェア工学 2       ○ネットワーク通信基礎 2         「情報通信工学実験Ⅱ 2		2	-			2		1 単位
コンピュータ・情報処理       ○計算機アーキテクチャ 2         アルゴリズム設計 2         オブジェクト指向プログラミング 3         プログラミング言語処理系 2         ディジタルシステム設計 2         ディジタルシステム設計 2         データベース 2         オペレーティングシステム 2         ソフトウェア工学 2         ○ネットワーク通信基礎 2         ○情報通信工学実験Ⅱ 2	2	2	-			2		1 単位
タ・情報処理       ○ 計算機 アーギアクチャ 2         アルゴリズム設計 2       1         オブジェクト指向プログラミング 3       プログラミング言語処理系 2         ディジタルシステム設計 2       ○ プログラム設計 2         データベース 2       オペレーティングシステム 2         ソフトウェア工学 2       ○ ネットワーク通信基礎 2         「情報通信工学実験 II 2		2	-			2		1 単位
アルゴリズム設計       2         オブジェクト指向プログラミング       3         プログラミング言語処理系       2         ディジタルシステム設計       2         グログラム設計       2         データベース       2         オペレーティングシステム       2         ソフトウェア工学       2         〇木ットワーク通信基礎       2         ○情報通信工学実験Ⅱ       2			-			2		
プログラミング言語処理系 2 ディジタルシステム設計 2  ○ プログラム設計 2 データベース 2 オペレーティングシステム 2 ソフトウェア工学 2 ○ ネットワーク通信基礎 2 ○ 情報通信工学実験Ⅱ 2		4	-			2		
ディジタルシステム設計 2       ○プログラム設計 2       データベース 2       オペレーティングシステム 2       ソフトウェア工学 2       ○ネットワーク通信基礎 2       ○情報通信工学実験Ⅱ 2		4	2			2	 	
「プログラム設計 2   データベース 2   オペレーティングシステム 2   ソフトウェア工学 2   ○ <u>ネットワーク通信基礎 2   ○ 情報通信工学実験 II 2   1   2   2</u>		4	 		 	2	1	
「データベース 2 オペレーティングシステム 2 ソフトウェア工学 2 ○ <u>ネットワーク通信基礎</u> 2 ○ 情報通信工学実験 II 2		4	 		! !		!	
情報システム オペレーティングシステム 2 ソフトウェア工学 2 ○ ネットワーク通信基礎 2 ○ 情報通信工学実験 II 2	1			1	i		1	
	i		2		! ! !		1	1 14 44
○ ネットワーク通信基礎       2         ○ 情報通信工学実験 II       2	1		! ! !	2	; ! !		 	1 単位
○ 情報通信工学実験 Ⅱ 2			 		2			
		2	 		! ! !		i i	
			4		; ! !		1	
ネットワークアーキテクチャ 2			2		 			
情報通信ネッ 情 報 理 論 2			 	2	;   		i i	1 単位
通信理論2			i i i	2	; ! !		i i	
ネットワークプログラミング 2			 	2	 			
情報セキュリティ 2			 		2		1	
マルチメディア (情報メディアとコミュニケーション) 1		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
表現・マルチ ディジタル信号処理 2			2		1		1	1 単位
メディア技術 デジタルコンテンツ 2			1		2			]
各教科の指導法 ○ 教科教育法 (情報) I 2			1	2	1		1	V 577 FT*
(情報通信技術の 活 用 を 含 む。) ○ 教科教育法 (情報) Ⅱ 2			1		2		1	4 単位
合 計	-							

注)① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。 ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、いずれか1科目選択必修。 ③ 上記表中の下線の付された授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

### 3 知的システム工学科

教科及び教		単				受 業	時数	女			<b>具瓜</b> 枚组出 <b></b>
科の指導法	10 W W D	·	1:	年	2	年	3	年	4	年	- 最低修得単位数 -
に関する	授業科目	位	前	後	前	後	前	後	前	後	<u> </u>
科 目		数	期	期	期	期	期	期	期	期	高校1種
	ICTと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		 	
情報社会(職	*情報社会と教育	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1単位
業に関する内容を含む。)・	*情報倫理	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	→※いずれか1科目選択必修
情報倫理	○情報職業論	2				1	2	! ! !		 	
	産 業 組 織 論	2				 	2	1		 	
	○計算機システムI	2	2			 		1		 	
	○ データ構造とアルゴリズム	2		4		 		! ! !		 	
	○計算機システムⅡ	2		2		 		1		 	
	オートマトンと言語理論	2		2							
コンピュー	数 値 計 算	2				2		1			1 単位
タ・情報処理	現代制御論	2				2		1		 	1 平位
	〇古 典 制 御 論	2					2				
	システム制御コンピューティング	2					2	1		 	
	システム計測	2				1		2		1	
	コントロール	2				 		2		 	
(主却 ショニ)	○プログラム設計	2			4	 		1		 	1 単位
情報システム	○組込システム	2				2					1 毕业
情報通信	○ ネットワーク通信基礎	2			2			1			1 単位
	○情報メディアとコミュニケーション	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
	○画 像 工 学 I	2				2					
マルチメディア 表現・マルチ	画像工学Ⅱ	2				1	2	 		 	1 嵌件
	パターン解析	2				1		2		1	1 単位
	計算力学の基礎	2				 		2		 	
	計算力学・演習	2						4			
各教科の指導法(標準通信技術の	○ 教科教育法(情報) I	2				1	2	! !		1	4 単位
(情報通信技術の活用を含む。)	○ 教科教育法(情報) Ⅱ	2				 		2		 	4 平14.
合 計											24 単位

注)① 上記表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。 ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、いずれか1科目選択必修。 ③ 上記表中の下線の付された授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

### 4 物理情報工学科

特別	教科及び教		単				受 業	時数	į.			最低修得単位数
大田   1   C T と現代社会論   1   (1)		拉 架 扒 口		1	年	2	年	3	年	4	年	取囚修行平位奴
1	に関する	投 兼 件 日 	-	前	後	前	後	前	後	前	後	古·杜 1 任
情報社会 (職業に関する内) に	科目		数	期	期	期	期	期	期	期	期	局仪Ⅰ悝
情報を含める。		ICTと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		 	
#		*情報社会と教育	1		i I	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	11
産業組織論 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	業に関する内   容を含む。)・	*情報倫理	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
○計算機システム I 2 2 2 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	情報倫理	○情報職業論	2				! !	2			 	
		産業組織論	2		 		i i i	2			 	
○計算機システム II   2   2   2   3   3   4   4   4   5   4   4   5   6   6   6   6   6   6   6   6   6		○計算機システムI	2	2	! !		! ! !				 	
オートマトンと言語理論 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		○ データ構造とアルゴリズム	2		4		! !				 	
タ・情報処理       人工知能論理2       2       2       1		○計算機システムⅡ	2		2							
人工知能論理 2   2   2   2   2   2   2   2   2   2		オートマトンと言語理論	2		2							1 単位
Tンビュテーショナル・ゲノミクス 2		人工知能論理	2				i !	2			 	
情報システム		信号処理P	2				i i		2		1	
情報システム   2   2   2   1   1   1   1   1   1   1		コンピュテーショナル・ゲノミクス	2		1				2			
情報システム 2		○プログラム設計	2		1	4					 	
組込システム  2   2   2   3   4   4   5   5   7   7   7   7   7   7   7   7	は却シャニ)	データベース	2		1		2				 	1 24 65
情報通信ネットワーク通信基礎 2 2 4 5 1単位  ネットワークブログラミングP 2 4 5 5 5 1単位  ネットワーク演習 1 2 2 5 5 5 5 5 1 1単位  ネットワーク演習 1 6 7 7 5 5 2 5 7 7 5 5 5 7 7 5 7 7 7 7 7 7	旧報ンスプム	組込システム	2		1				2			1 半辺
情報通信ネットワークブログラミングP 2		バイオデータベース演習	1		1		 	2			 	
トワーク ネットワーク演習 1 2 2 1 1 単位 ・ マルチメディアとコミュニケーション 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (		○ ネットワーク通信基礎	2		1	2						
○ 情報メディアとコミュニケーション   1		ネットワークプログラミングP	2		1		4				1	1 単位
○物理数学2   2   1単位		ネットワーク演習	1				1	2				
マルチメディア表現・マルチメディア技術       ○ コンピュータグラフィックスP       2       2       1単位         数値計算演習1       2       2         グラフィックス演習1       2       2         システムバイオロジー2       2       2         人工知能応用2       2       4         各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)       ②教科教育法(情報) I       2       2         公教科教育法(情報) II       2       2       4単位		○ 情報メディアとコミュニケーション	1		1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
マルチメディア表現・マルチメディア技術       ① コンピュータグラフィックスP       2       1単位         数値計算演習 1       2       2         グラフィックス演習 1       2       2         システムバイオロジー 2       2       2         人工知能応用 2       2       4単位         各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)       ②教科教育法 (情報) I       2       2         ・教科教育法 (情報) I       2       2       4単位		〇物 理 数 学	2			2	i !					
表現・マルチメディア技術     数値計算演習 1     2       グラフィックス演習 1     2       システムバイオロジー 2     2       人工知能応用 2     2       各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)     ①教科教育法 (情報) I     2       公教科教育法 (情報) II     2     2		○物理情報工学実験Ⅱ	2		1		4					
メディア技術     数値計算演習 1     2       グラフィックス演習 1     2       システムバイオロジー 2     2       人工知能応用 2     2       各教科の指導法 (情報) I 2     2       (情報通信技術の活用を含む。)     教科教育法 (情報) II 2       ②教科教育法 (情報) II 2     2	マルチメディア	○ コンピュータグラフィックス P	2		1		 	2			 	1 単標
システムバイオロジー       2       2         人工知能応用       2       2         各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)       〇教科教育法(情報) I       2       2         分教科教育法(情報) II       2       2		数值計算演習	1		1		1		2		 	] 1 半辺
人工知能応用2       各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)     ②教科教育法(情報) I 2       ②教科教育法(情報) II 2       2       4単位		グラフィックス演習	1		 		 		2		 	
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)       ① 教科教育法(情報) I 2       2       4単位		システムバイオロジー	2		i !		 		2		 	
(情報通信技術の活用を含む。) ○教科教育法(情報) Ⅱ 2 2 4単位		人工知能応用	2		i i		 		2		 	
活用を含む。)○教科教育法(情報)Ⅱ 2 2		○ 教科教育法(情報) I	2		 		 	2			 	A 14 E-
合 計 24 単位		○ 教科教育法(情報) Ⅱ	2		1		1		2		 	1 4 半辺 
	合 計											24 単位

注)① 上記表中で〇印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。 ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内、いずれか1科目選択必修。 ③ 上記表中の下線の付された授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目 である。

# 5 生命化学情報工学科

教科及び教		単				授 業	時数	<u> </u>			具瓜板组出凸粉
科の指導法	16 W 10 D	•	1	年	2	年	3	年	4	年	最低修得単位数
に関する	授 業 科 目	位	前	後	前	後	前	後	前	後	
科 目		数	期	期	期	期	期	期	期	期	高校1種
	ICTと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		1	
情報社会(職	*情報社会と教育	1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1単位
業に関する内容を含む。)・	*情報倫理	1		1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	〉※いずれか1科目選択必修
情報倫理	○情報職業論	2		1			2				
	産 業 組 織 論	2		! ! !		 	2	 		 	
	○計算機システムⅠ	2	2	 		 		 		1	
	○ データ構造とアルゴリズム	2		4		 		 		 	
	○計算機システムⅡ	2		2		 		 		 	
	オートマトンと言語理論	2		2		 		 		1	
コンピュー タ・情報処理	人工知能基礎	2		! ! !		2		 		 	1 単位
10 110 2 2	人工知能B	2		1		 	2	1		 	
	数 値 計 算	2		1		 	2	 		 	
	人工知能論理	2		! ! !		 	2	 		 	
	コンピュテーショナル・ゲノミクス	2		 		 		2		1	
	○プログラム設計	2		! !	4	 		! !		 	
情報システム	○データベース	2		1		2					1 単位
	○バイオデータベース演習	1		1			2	1			
	○ ネットワーク通信基礎	2		1	2	1		1			
情報通信ネット ワーク	ネットワークプログラミングP	2		1		4		1		 	1 単位
	ネットワーク演習	1		1		 	2	 		 	
	○ 情報メディアとコミュニケーション	1		1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
	○ コンピュータグラフィックス P	2		 		 	2	 		 	
マルチメディア	○グラフィックス演習	1		1				2			
表現・マルチ	数值計算演習	1		1		 		2			1 単位
メディア技術	システムバイオロジー	2				1		2		 	
-	人工知能応用	2		i !		 		2		 	
	創薬ケモインフォマティクス	2		 		 		2		I I	
各教科の指導法	○ 教科教育法(情報) I	2		! !		 	2	! !		 	4 144 FF
(情報通信技術の活用を含む。)	○ 教科教育法(情報) Ⅱ	2		1		1		2		1	4 単位
合 計											24 単位

- 注) ① 上記表中で○印の付された授業科目は、必ず修得しなければならない。
  - ② 上記表中の\*印の付された授業科目の内,いずれか1科目選択必修。
  - ③ 上記表中の下線の付された授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。